



# 寄未知タイムス

理念・校訓 「学・恩・賞」

発行 令和5年12月25日  
那覇市立寄宮中学校  
生徒数 527名  
学校だより7号

## 「2023年はどんな年だったかな？」

校長 望月雄紀

2023年は、どんな年だったのでしょうか？世界では、昨年勃発したロシアによるウクライナへの軍事侵攻の継続や武装組織ハマスがイスラエルへ奇襲攻撃を行ったことからイスラエル軍がガザ地区への攻撃を始めるなど、混沌とした状況です。日本では、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、コロナ禍で中止となっていたイベントが再開されるようになりましたが、日大の大麻問題や旧ジャニーズ問題など暗いニュースもつづきました。夏には史上最高の暑さを記録し、昨年から続く物価高にも翻弄される1年となりました。

しかし、スポーツ界では明るいニュースがありました。3月に野球の侍ジャパンがWBCを見事に優勝して日本中を熱狂させました。また8月には、沖縄県で開催されたバスケットボールのワールドカップで、日本代表がフィンランドに歴史的な勝利をして自力でパリオリンピックの切符を勝ち取るなど、バスケットボールファンはもちろん日本中を熱くしました。

本校では、4月早々から4年ぶり開催の那覇ハーリーの練習が始まり、5月2日に生徒会主催の新入生歓迎球技大会の開催、翌日の3日に那覇ハーリーに参加しました。いずれも今年度の寄宮中学校を大いに盛り上げる取組となりました。6月には1年生が台湾の中学生との交流、3年生にとっては最後の中体連、大学教授を迎えての平和講演会など、学びの多い月となりました。7月には、1年生のキャリア学習会に12名、3年生の高等学校説明会に8名の講師の方々が来校されました。地域力を感じました。8月のリーダー研修で計画して準備を進めたYORIMPIC2023を9月に開催しました。途中の豪雨で最後の種目の団アピールは延期となりましたが、10月に実施することができました。とても素晴らしい取組でした。そして、旗頭フェスタ、3年生の総合的な学習の時間（チャレンジ極みプロジェクト）の発表会、駅伝大会、合唱コンクールなど数々の取組を生徒は精力的に取り組んでいました。

来年の辰年（たつどし）には、更に飛躍した寄宮中生になることを期待しております。

### 修学旅行大成功

本校では4年ぶりに県外への修学旅行を、11月26日から28日までの2泊3日で実施することができました。実施にあたり、生徒たちが修学旅行先でも楽しく探究学習ができるように、総合的な学習の時間を活用して綿密に事前の準備を重ねてきました。事前の取組を端から見ていた団長の私（校長）は、90%は成功していることを確信していました。生徒たちには、残りの10%は現地で楽しみながら、自分の目標を達成するだけあることを伝えました。現地での生徒はとても立派に取組をして、団長としてもとても誇らしかったです。以下、花城弘樹学年主任の思いです。

「絆を深め、好奇心の扉を開け ～創ろう memories 感じよう histories～」のテーマのもと、11月26日(日)～29日(火)の2泊3日の日程で関西へ修学旅行に行ってきました。コロナ禍で県外への修学旅行が実現できない期間があったため、寄宮中学校では4年ぶりとなる県外の修学旅行でした。

今年度の修学旅行は2年生にミッションをあたえました。それは、「沖縄の観光を世界一にするための秘策を考えよ！」です。2学



年の総合的な学習の時間(寄未知タイム)での取り組みで、沖縄の観光と京都の観光を比較し沖縄の観光の課題を解決する策を考えさせており、それを修学旅行先で現地調査をさせることがねらいです。

1日目は、関西国際空港から奈良公園、東大寺の見学でした。気温は15℃。ひんやりとした空気ではありましたが温かく感じました。奈良の大仏の大きさと奈良時代から続く歴史の長さにも生徒のみなさんも圧倒されていました。紅葉も綺麗で紅葉拾いをしている生徒の姿も見られました。

2日目は、京都自主研修です。ミッションを果たすために京都市内を巡りながら、探究活動を行いました。清水寺はチェックポイントとして全員が見学をしました。お土産屋やホテルにインタビューやアンケートをとる生徒もいました。行きたい場所に行けて、好きな物を食べて、みんな満足した顔で旅館に帰ってきました。自主研修中に財布の落とし物が2件。しかし、どちらも拾った方が届けてくれ、京都の方の「人情」も感じることができました。夜の学年レクも盛り上がりました。



3日目は、USJに行きました。生徒が一番楽しみにしていた行程です。昼食を食べる時間も惜しんで、アトラクションへと走り回っている姿。好きなキャラクターの帽子をかぶったりお土産をたくさん抱えている姿は微笑ましかったです。

夜になると発熱等の体調不良になる生徒もいましたが、3日間、全員が無事修学旅行の行程を楽しむことができた事が何よりもうれしく思います。【2学年主任：花城弘樹教諭】

## 生徒会長・副会長選挙

12月13日に生徒会長・副会長選挙が開催されました。生徒会長に4名、副会長に3名が立候補しました。2月に生徒会引き継ぎ式が行われる予定です。

ところで、選挙運動期間中に、とても心地よい光景に出会いましたので紹介いたします。ちょうど、選挙運動に熱が入ってきたころです。ある朝、立候補者と推薦者が正門にやってきて、「校長先生、一緒に挨拶運動をしてもいいですか。」と言ってきました。「もちろんです。一緒にやりましょう。」と応えました。二人は大きくて爽やかな声で「おはようございます。」と挨拶を始めました。寄宮中生も道行く地域の人もいつもよりニコニコして挨拶を返してくれました。そこで、「思っていたより、挨拶を返してくれるから、やっていると気持ちがいいなあ。」とある生徒がいました。私は、「どうしてだと思う。きっと、やらされている挨拶でないで、気持ちが伝わっているからだと思うよ。」と伝えました。生徒たちはニコニコしながらあいさつを続けていました。気持ちのいいあいさつに、寄宮中生や道行く地域の方々の笑顔が見られて、とても心地よい朝のひとつとなりました。あいさつ一つで、1日が変わるかもしれませんね。



## 来校者多数

12月は来校者多数の月となりました。12月1日には沖縄県中学校英語研究会主催の県大会で、兼島こずえ教諭が1年4組で公開授業を行い県内の英語教諭や教育関係業者が来校、8日には異文化交流会が開催され、那覇市内の外国語指導員ALT約10名が来校、14日には初任研の代表授業で三上若那教諭が2年3組で特別活動の公開授業を行い、初任研の教諭が来校、また同日に那覇教育事務所が主催する英語授業力アップ授業研究会で大城志乃教諭が1年4組で公開授業を行い、文科省の調査官や事務所所長他、指導主事や英語教諭多数が来校、翌日15日には、寄宮中学校区の真和志小、上間小、与儀小の先生方が一堂に集まり、今年度のまとめをしました。そして19日からの三者面談で保護者が来校されました。本校は生徒も先生も躍動しています。

## 保護者の皆様へ

今年も押し詰まって参りました。4月に寄宮中学校へ赴任して、あっという間の9ヶ月でした。保護者の皆様には、平素よりの本校へのご支援、ご協力を深く感謝しています。先日の三者面談では年末のお忙しいところ、学校へ足を運んでいただき、大変ありがとうございました。

ところで、12月16日(土)に琉大教授の宮城政也教授を講師に迎え、ストレスマネジメント講習会を実施しました。これは、2学年のPTA行事として実施されました。講話では「ストレスの無い生活はない。誰しもストレスを感じて生きています。だから、自分のストレスに向き合う必要があります。」「その解消方法として、運動、身体を動かすことがとても良いです。」との話がありました。また、講師の宮城教授からは、生徒の聞く態度や取り組む姿勢にお褒めの言葉もいただきました。さすが、寄宮中生!

保護者の皆様におかれましては、健康に気をつけて、よい新年をお迎えください。